

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成27年度)

施設 の 名 称	宮城県宮城野原公園総合運動場
指 定 管 理 者 の 名 称	宮城県スポーツ振興財団・ミズノグループ
施 設 所 管 部 課 ( 室 )	教育庁 スポーツ健康課

## 1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成18年 4月 ~ 平成21年 3月	指定管理者	財団法人 宮城県スポーツ振興財団	
平成21年 4月 ~ 平成24年 3月	指定管理者	財団法人 宮城県スポーツ振興財団	
平成24年 4月 ~ 平成29年 3月	指定管理者	宮城県スポーツ振興財団・ミズノグループ	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

## 2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	宮城県スポーツ振興財団・ミズノグループ
	所在地	宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1
指 定 期 間	平成 24年4月 1日 ~ 平成29年3月31日 ( 5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

## 3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	宮城県宮城野原公園総合運動場	
所 在 地	宮城県仙台市宮城野区宮城野二丁目11-6	
設 置 年 月	昭和25年 4月	
根 拠 条 例 等	県立都市公園条例	
設 置 目 的	スポーツの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため。	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	154,156.77㎡
	構 造	宮城テニスコート:クラブハウス 鉄骨造2階建, 宮城相撲場:鉄筋コンクリート造平屋建
	内 容	テニスコート(人工芝10面) 相撲場
開 館 ( 所 ) 日	年末年始(12/29~翌1/3日迄)及び施設点検日12/28(13:00~17:00)を除く毎日	
開 館 ( 所 ) 時 間	夏時間 4月1日~10月31日まで 8:00~19:00 冬時間 11月1日~3月31日まで 8:00~18:00 その他 土曜日・日曜日・祝祭日 8:00~17:00	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	1 本施設の管理運營業務 2 本施設の利用許可に関する業務 3 本施設の利用の制限及び入場の拒否等に関する業務 4 本施設の行為の許可に関する業務 5 本施設の機械設備の操作・日常点検業務 6 本施設の施設・設備、物品及び敷地の維持管理業務 7 その他本施設の管理運營業務に関して宮城県教育委員会が必要と認める業務	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利 用 料 金 の 名 称	施設利用料、行為許可使用料(独占利用料含む)

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
開館(所)日数	359 日	359 日	356 日	99.2%	99.2%
延べ利用者数	49,980 人	55,329 人	52,090 人	104.2%	94.1%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
テニスコート	49,530 人	51,020 人	49,836 人	100.6%	97.7%
自転車競技場	— 人	953 人	— 人	-	-
相撲場	450 人	185 人	344 人	76.4%	185.9%
公園来場者(無料観客・見学・公園)	— 人	3,171 人	1,910 人	-	60.2%
	— 人	— 人	— 人	-	-
合 計	49,980 人	55,329 人	52,090 人	104.2%	94.1%

※自転車競技場はH26.6指定管理施設から除外

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
県指定管理料	13,544	13,724	13,544	100.0%	98.7%
利用料金収入	8,387	8,186	9,944	118.6%	121.5%
その他	213	216	160	75.1%	74.1%
収入計 (a)	22,144	22,126	23,648	106.8%	106.9%

(2) 支出

人件費	9,460	9,319	8,378	88.6%	89.9%
施設管理費	8,992	5,703	12,785	142.2%	224.2%
事業運営費	3,692	1,164	1,295	35.1%	111.3%
その他				#DIV/0!	#DIV/0!
支出計 (b)	22,144	16,186	22,458	101.4%	138.7%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	5,940	1,190	#DIV/0!	20.0%
前期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!
次期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!

6. 評価対象年度(平成27年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
				評価		評価	
①管理運営体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消耗品の購入及び委託・修繕等の起案は施設で行い、契約・支出は事務局で一元管理した。</li> <li>○コンプライアンス、リスクマネジメント等研修を行い職員の意識向上に努めた。</li> <li>○事務分掌により組織上の役割・職責の明確な管理運営体制とした。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○事務の一元管理により効率的な管理運営が実施できた。</li> <li>○財団事務局及び県担当課等の関係部署と連携・協力し、スムーズな管理運営ができた。</li> <li>○コンプライアンスの徹底により個人情報の漏えいその他の法令違反はなかった。</li> </ul>		S	<p>事務手続の見直し、事務分掌を明確にしたことにより、効率的な管理運営体制が図られた。</p>	A
人員体制	正規	5人	非正規	3人			
②施設・設備の維持管理業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員による日常点検及びテニスコートの珪砂補充・散布・整地作業並びに相撲場照明の点灯チェック等を実施した。</li> <li>○職員によるコート面の剥がれ・亀裂の接着補修を実施した。</li> <li>○専門業者によるコート面補修の実施(2・3・4・5・7・8コート)</li> <li>○専門業者による土俵整備の実施した。</li> <li>○指定管理料に含まれる500千円を超える修繕を実施した。</li> <li>○その他専門業者による設備等の点検業務の実施した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員の日常点検及び整備作業により安定して施設の供用を実施できた。</li> <li>○施設の瑕疵による怪我・事故の発生はなかった。</li> <li>○県と施設・設備の劣化状況等の情報共有を図り、県の修繕等の計画策定に協力できた。</li> </ul>		S	<p>職員の日常的な保守点検などにより、修繕箇所の早期発見に努めている。また、軽微な修繕及び緊急性の高い修繕については、予算の範囲内で対応いただきたい。</p>	A
③運営業務(ソフト事業等)の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○テニス一般申込について、抽選制度を導入した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○より多くの団体にコート利用機会が増えた。</li> <li>○手続きのための待ち時間が大幅に短縮された。</li> </ul>		S	<p>主要施設となったテニスコートにおいて、コート利用の申し込みを抽選にするなどの利用者の立場に添った工夫も見られ、利用者のニーズに応えた円滑な管理運営に努めた。</p>	S
④自主事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○初心者テニス教室を2期にわたり実施した。</li> <li>○国内のトッププレイヤーのミズノ派遣講師によるソフトテニスの実技指導教室を行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○テニス教室の実施により県民の生涯スポーツ活動の機会を提供できた。</li> <li>○ソフトテニス教室の実施により本県中学生の競技力向上に寄与した。</li> </ul>		S	<p>初心者向けのテニス教室の開催など、新規利用者の増加に繋がる取り組みを行っている。また、競技者に向けては、トッププレイヤーの講師による教室を開催するなど、競技力の向上に寄与する取り組みを行っている。</p>	A
⑤利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ラケット・ボールの貸出を行った。</li> <li>○県民の要望により早期開放(5時~8時)を継続実施した。</li> <li>○公園の利用者を妨げない場所へ飲料の自動販売機を設置した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○誰もが気軽に施設利用できるよう環境の充実が図れた。</li> <li>○県民のスポーツ活動機会の拡充が図れた。</li> </ul>		S	<p>テニスラケット等の無料貸出や早期利用の開放等、利用者のニーズに応えた円滑な管理運営に努めている。</p>	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>○窓口でヘルプデスク業務を行い、利用者の要望・苦情等の把握に努めた。</li> <li>○ロビーに「お客様の声BOX」を設置し、県民ニーズの把握に努めた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○対応例 宮城野原公園の車椅子利用者からポプラ入口の改善要望を受け、車止めポールの一部を撤去し、車椅子でも安易に通行が出来るよう改善した。</li> <li>○公園利用者の利便性が向上された。</li> </ul>		S	<p>アンケートに加え、各窓口で利用者の意見要望を聞く体制を整え、要望への対応状況について利用者に周知を図った。</p>	A
⑦安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員による設備の日常点検</li> <li>○職員による巡回の実施</li> <li>○防火・避難訓練の実施</li> <li>○施設の安全点検(年2回)実施</li> <li>○警備会社による利用時間外の巡回警備の実施</li> <li>○競技場前交番の協力による警ら・巡回</li> <li>○危機管理マニュアルの整備による危機管理対策の実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○設備・備品等の不備により施設供用が不可能になったことはなかった。</li> <li>○施設の瑕疵による事故・怪我等の発生はなかった。</li> <li>○公園内巡回時に発見した危険木等は速やかに伐採又は撤去を行った。</li> </ul>		S	<p>職員による巡回点検を毎日実施し、危険箇所の把握に努めている。</p>	A
⑧県民の平等利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県立都市公園条例及び宮城野原公園総合運動場・仙台市陸上競技場管理運営規程を遵守し、平等利用に努めた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○県・仙台市が主催する大会を含めて、競技大会が適切に開催されるとともに、一般利用でも偏った使用状況が生じない平等な利用を実施できた。</li> </ul>		S	<p>年間を通じて大会が開催されるなど、利用率は高く、適切な管理運営が行われている。</p>	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	○個人情報保護規程(HP掲載)を遵守し、管理PCを施錠・パスワード設定する等して漏えい防止を図った。 ○職員研修及び事務室内に関係規程を張り出して個人情報保護を徹底した。	○個人情報記載された資料は全てシュレッダーにより処分を行った。 ○平成27年度についても個人情報の流出等は発生しなかった。	S	独自の個人情報保護規程を策定し、情報の漏洩等事故防止に努めた。	A
⑩利用実績	○4 施設利用実績のとおり	○対計画比では、104.2%の実績であったが、対前年度比較では94.1%の実績であった。 ○積雪・凍結のため8日間テニスコートの閉鎖を余儀なくされた。	A	対前年度比較においては利用者数は減少したものの、対計画比較では上回るなど、安定した管理運営が行われている。	A
⑪収支実績	○5 管理運営収支実績のとおり	○利用料収入が増加し、収入全体で106.8%の実績となった。 支出も適正に行われ、対前年比では138.7%となったものの、収支は黒字となった。	S	テニスコートにおいて、競技大会の貸切利用が増加したことのほか、個人利用も増加傾向にあり、一定の収入を確保できた。更に経費の削減に努め、収支の改善を図ることができた。	S
⑫その他の取組	○遊具等のフレームが腐食し、倒壊の危険性が高いポプラコのブランコを楽天野球団と協議の上、撤去した。	○遊具の危険性を放置せず事故を未然に防いだ。	S	関係機関と連携し利用者の安全性を優先した取り組みを行うなど、適正な管理運営が行われている。	A
総合評価		施設利用者数は前年度には及ばなかったが、計画値は超えることができた。 また、期間中に重大な事故の発生や個人情報等の漏えい等もなく安全管理も含めて適切な管理運営が実施できた。	S	利用者の立場に添った運営、自主事業の拡充等、効率的な運用が認められる。 また、概ね年度事業計画に掲げた業務・事業が履行されており、適正な管理運営が行われていると認められる。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	【課題：施設の劣化による利用環境の悪化】 ○テニスコート 経年劣化による摩耗・損傷が進行しており、度々職員や業者による修繕を行った。通年利用されるコートであることから計画的なコートの更新が必要と思われる。今後、設置者による計画的修繕を期待する。また、一般利用者から、夜間の利用や更衣室、シャワー等の利用について要望があった。 ○相撲場 照明設備に漏電ブレーカーが付属せず、感電のおそれがあるので、早急な修繕が望まれる。	テニスコート、相撲場など経年による劣化、使用に伴う損傷など修繕が必要な状況である。また、テニスコートにおいては通年利用されることから、計画的なコートの計画的修繕が必要となっている。 また、当施設についてはスポーツ施設利用者以外の公園利用者が多数存在するため、公園全体の状況把握及び利用者の安全確保が課題であり、近隣関係施設・関係機関との連携を密にし、管理運営に努める必要がある。

5. 自主事業収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】(宮)

(1) 収入 (単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
事業費	226	105	221	97.8%	210.5%
参加料収入	210	217	160	76.2%	73.7%
収入計 (a)	436	322	381	87.4%	118.3%

(2) 支出

人件費	0	0	0	-	-
施設管理費	430	315	379	88.1%	120.3%
事業運営費	6	7	2	33.3%	28.6%
その他					
支出計 (b)	436	322	381	87.4%	118.3%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	0	0		
前期繰越収支差額					
次期繰越収支差額	0	0	0		

※ 各数値は仙台市陸上競技場を除いたものである。